

(1) 平成 24 年度事業計画(平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで)

I 東京都立新宿高等学校の教育活動の支援

1 臨海教室再開への支援

- ・ 臨海教室の再開を積極的に支援する。そのためのゴムボートなどを購入する。

2 母校の図書館活動の支援

- ・ 10 万円の図書を購入し、新宿高校図書館に寄贈する。
- ・ 図書館用にスツールを購入する。

3 奨学金の支給

- ・ 現在朝陽同窓会が保管している“あい基金”を財団法人に移管し、財団法人から奨学金を支給することを朝陽同窓会と共に検討する。

II 館山寮の運営管理

1 給食について

- ・ 次回理事会までに給食委託先と交渉し、さらなる経費節減を図る。

II 地震津波対策について

- ・ 次回理事会までに一般宿泊者向けの津波対策マニュアルを作成する。

III 一般宿泊管理について

- ・ 次回理事会までに一般客が宿泊している際の館山寮の管理について、夏季管理者を設定するかどうかなどの具体策を作成する。

III 水上寮の土地建物の保管

1 水上寮撤去費用積立

- ・ 撤去費用の一部に充てるため 50 万円を積み立てる。
- ・ 理解を深めるため、理事、評議員による現地視察の会を開催する。

IV 東京都立新宿高等学校の職員、生徒、卒業生、並びに生徒の保護者の交誼親睦の向上

1 朝陽バラ会への支援

- ・ 活動支援のため、5 万円を支給する。

II 母校創立 90 周年記念行事

- ・ 財団法人朝陽会としても祝賀活動が出来ないかどうか、次回理事会までに検討を行う。

III 職員、生徒、卒業生、並びに生徒の保護者の交誼親睦の向上

- ・ バラ会支援以外にも活動すべきものがないかどうか、次回理事会までに検討を行う。

I 予算の概要について

- － 平成 23 年 8 月 11 日に特例民法法人から一般財団法人に移行したので、平成 23 年度の会計年度は移行前と移行後の二つに分かれた。
- － 平成 24 年度の収支予算書で言う前年度予算は、移行後の一般財団の予算を指す。
- － 一般財団の予算は特例民法法人の予算残を以て予算金額とした。したがって、前年度予算は通常の年度予算より少ない。

II 財政収支について

- － 前年度は臨海教室中止のため財政状態が悪化し、400 万円を超える赤字となる予想である。
- － 平成 24 年度はさらに 358 万円程度の赤字が純増する。
- － 収支改善のため保護者に対し十分な説明を行い、新入生全員から賛助金を納めて頂けるような方策を確立する。
- － 実際の費用支出の際には、再度十分内容を吟味し、極力費用節減を図る。

III 経常収益

- － 受取会費 390 万円
 - ・ 今年度の賛助会費収入は前年実績の 1 割増しを見込んだ。
236 名→260 名、354 万円→390 万円
 - ・ したがって、新入生に対して賛助会費支払のための案内・宣伝をさらに行う必要がある。
- － 寮使用料 872 万円
 - ・ 臨海教室－生徒 432 万円 平成 22 年度並み
 - ・ 同 －引率教員 50 万円 同上
 - ・ 同 －OBOG 108 万円 同上
 - ・ 水泳部合宿 87 万円 同上
 - ・ 一般宿泊－卒業生 112 万円 前年実績並み
 - ・ 水泳部 OB 会 83 万円 同上
- － 寄付金収入 25 万円
 - ・ PTA バサ－売上げ 15 万円 前年実績並み
 - ・ 朝陽同窓会－図書寄付用 10 万円 同上

IV 経常費用

- － 給与手当 62 万円
 - ・ 本間現地管理人給与 50 万円 前年実績並み
 - ・ 夏季管理者 12 万円 新規任命の予定
- － 臨時雇用賃金 54 万円
 - ・ 作業費 28 万円 前年実績並み
 - ・ 清掃費 26 万円 同上

－	旅費交通費	11 万円	
	・ 館山寮夏季管理者	3 万円	
	・ 館山寮点検視察	5 万円	
	・ 水上寮点検視察	3 万円	
－	減価償却費	405 万円	
	・ 館山寮	348 万円	前年実績並み
	・ 同女子棟	58 万円	前年実績並み
－	消耗什器備品費	132 万円	
	・ 厨房ガスコンロ	10 万円	館山寮
	・ 炊飯器	50 万円	館山寮
	・ 厨房換気扇	30 万円	館山寮
	・ 保健室エアコン	15 万円	館山寮
	・ ゴムボート	13 万円	館山寮
	・ 船梯子など	7 万円	館山寮
	・ ツール	7 万円	図書館
－	消耗品費	32 万円	
	・ 館山寮関係	22 万円	平成 22 年度実績並み
	・ 母校への図書寄贈	10 万円	前年実績並み
－	修繕費	10 万円	
	・ 平成 24 年度は修繕が少ないと思われるので、まとめて 10 万円を予算計上		
－	燃料費	30 万円	
	・ ガソリン、ガス、灯油	30 万円	前年実績並み
－	光熱水費	48 万円	
	・ 電気代	30 万円	平成 22 年度実績並み
	・ 水道代	18 万円	同上
－	賃借料	46 万円	
	・ 貸布団代	35 万円	平成 22 年度実績並み
	・ AED	5 万円	同上
	・ レンタカー	5 万円	同上
－	支払助成金	10 万円	
	・ 船舶免許取得補助	10 万円	1 名分
－	委託費	711 万円	
	・ 食事代－固定費	400 万円	平成 22 年度実績並み
	・ 同 ー朝食	68 万円	同上
	・ 同 ー昼食	68 万円	同上
	・ 同 ー夕食	120 万円	同上
	・ 設備保守点検作業費	55 万円	同上

(3) 運営細則について

I 評議員会の議長

- － 理事長が務める

II 議事録の送付

- － 議事録は財団法人のホームページに遅滞なく掲載するので、各理事、評議員、監事に書類として送付しない。

III 書類の保管

- － 議事録や決算、各種官庁への報告書、就任届や辞任届などは7年間保存する。

IV 承認権限規定の作成

- － 予算内支出の執行や予算外の支出の承認、あるいは契約などについて、特に業務執行理事の権限を明確化する。

V 明文化

- － 上記の事項を含めた運営細則や承認権限規定を次回の理事会に上申する。

以上

財産運用益			
基本財産受取利息	45,000	31,048	13,952
資産運用益			
特定資産受取利息	2,000	1,400	600
会費			
賛助会員受取会費	3,900,000	300,000	3,600,000
収益			
寮使用料収入	8,720,000	7,926,190	793,810
館山寮改修費充当金	0	0	0
寄付金収入	250,000	50,000	200,000
益			
受取利息	2,000	2,482	-482
雑収入	5,000	-4,500	9,500
繰越収支差額			
前期繰越収支差額	-4,274,747	-3,238,100	-1,036,647
經常収支合計	8,649,253	5,068,520	3,580,733

費			
給料手当	620,000	258,000	362,000
臨時雇賃金	540,000	284,000	256,000
旅費交通費	110,000	62,380	47,620
通信運搬費	30,000	19,100	10,900
減価償却費	4,048,000	2,697,880	1,350,120
消耗什器備品費	1,321,000	829,710	491,290
消耗品費	323,000	567,860	-244,860
修繕費	100,000	164,115	-64,115
燃料費	300,000	256,320	43,680
光熱水料費	480,000	348,502	131,498
賃借料	460,000	259,110	200,890
保険料	270,000	0	270,000
支払負担金	70,000	2,000	68,000
支払助成金	100,000	104,100	-4,100
委託費	7,110,000	2,428,925	4,681,075
雑支出	10,000	10,000	0
費			
給料手当	0	312,000	-312,000
会議費	0	0	0
旅費交通費	3,000	14,740	-11,740
通信運搬費	65,000	53,600	11,400
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	10,000	20,000	-10,000
租税公課	81,000	46,600	34,400
雑支出	10,000	21,055	-11,055
費			
予備費	600,000	583,270	16,730
繰越収支差額			
次期繰越収支差額	-8,011,747	-4,274,747	-3,737,000
經常費用合計	8,649,253	5,068,520	3,580,733